



## 務

土木學會誌 第十六卷第九號 昭和五年九月

○昭和五年七月廿九日役員會を開く、中川會長、八田副會長、木津、橋本、久保田、眞田、谷口、前川、近の各常議員、丹治、牧野兩主事出席、中川會長議長席に着き下記事項を決議せり。

△土木學會震害調査報告書英文版の件は外務省其の他と交渉の必要あるに付其れ等の交渉方は會長に一任すること。

△九月下旬開催の座談會の話題は「東京市の下水の話」とすること。

△十月開催の講演會には鳥居龍造氏の講演を依頼すること其の他會務に關する事項。

○同年八月四日編輯委員會を開く。黒河内委員長、井上、菊池、鈴木、藤井、三浦各委員及菊池囑託出席、會誌編輯上に關し協議を爲せり。

## 調査會記事

○コンクリート調査會幹事會に於て鐵筋コンクリート標準示方書原案の審議完了したるに付八月十八日之を各委員に配布し意見を求むることせり。

○七月三十日會員岩津忠恭君、同三木榮三君、永田年君を用語調査會幹事に依嘱せり。

○昭和五年七月廿九日土木學會誌第十六卷第六號發行成規の手續を了し翌三十日各會員に配布せり。

○會員曲尾辰二郎君は退會せられたり。

○昭和五年八月一日以降同月十五日迄に入會の手續を了し名簿に登録したる者下記二十二名なり。

### 准 員

小牧孟夫君 ○荒井利一郎君 加連金次郎君 ○古賀清藏君

○後藤勝三君 重田勝浩君 須田安勝君 ○武田良一君

○谷本治三郎君 德岡堅三君 ○内藤勝君 永田幸義君

西村泰次郎君 ○野田利朗君 ○林榮君 ○星治雄君

吉田友文君 河野次男君 田村武男君

學 生 員

大槻正雄君 上野市三郎君 東島健次郎君

○昭和五年八月十五日以降同月末日迄に於て寄贈並に交換を受けたる雑誌其の他下記の通り

寄贈の分

三菱電機第8號	1冊	三菱電氣株式會社神戶製作所
ユアサ時報第6號	1冊	湯淺蓄電池製造株式會社
内外工業時報八月號	1冊	最新工學普及會
鐵道技術第8號	1冊	鐵道技術社
電氣製鋼第8號	1冊	電氣製鋼研究會
朝鮮水力調査書	1部	朝鮮總督府遞信局
潮力發電	1冊	同上
森橋梁工學	1冊	森慶三郎氏
帝國學士院記事第7號	1冊	帝國學士院
セメント界彙報第241號	1冊	セメント界彙報發行所
動力第8號	1冊	日本動力協會
電氣ヴィーグル第8號	1冊	電力需給促進會社
ワット第8號	1冊	ワット社
日立評論	1冊	日立評論社
水道第8號	1冊	水道社
工業之大日本第27卷第8號	1冊	工業之日本社
明電舎ジャーナル第6卷第4號	1冊	明電舎
東京土木建築業組合報八月號	1冊	東京土木建築業組合
工業要錄第7,8號	2冊	工業資料調查會

交換の分

鐵と鋼第8號	1冊	日本鐵鋼協會
機械學會誌第160號	1冊	機械學會
日本鑄業會誌第544號	1冊	日本鑄業會
工政第128號	1冊	工政會
造船協會雜纂及同附錄	2冊	造船協會

業務研究資料第 20-21 號及第 29-31 號	5 冊	鐵道大臣官房研究所
電氣學會雑誌第 505 號	1 冊	電 氣 學 會
建築雑誌第 536 號	1 冊	建 築 學 會
帝國鐵道協會々報第 31 卷第 8 號	1 冊	帝 國 鐵 道 協 會

會員武藤傳造君、同淺見忠次君は本年八月逝去せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し哀悼の意を表したり。

## 雑誌閲覧に就ての會告

下記の雑誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は下記時間内御隨意に御閲覧相成度候。

### 閲 覧 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午後一時至同四時、其他自午後四時至同八時。

但し役員會、委員會等開催の日は御断り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置候下度候。

### 備 付 雜 誌

Engineering	工港	時々	論報	鋼誌	鋼誌
Engineering News-Record	國造	建築	報	論報	論報
Le Génie Civil	造船	協会	鋼	鋼	鋼
Railway Gazette	帝國	鐵道	誌	誌	誌
衛生工業協會誌	鐵	氣	學會	論	論
機械學會誌	電	氣	製	報	報
業務研究資料(鐵道大臣官房研究所)	電	木	建築	雜誌	雜誌
建設	土	立	評		
建築雜誌	日	古屋	工業會	々	
工學部紀要(東大、京大、九大)	名古	工業	會		
工學報告(東北帝大)	滿洲	技術	協會		
工業化學雜誌	其	他	寄贈		
工事畫報					

廣告料(東京市京橋區築地上柳原町八番地 東京第一通信社取扱)  
(電話京橋 872番、振替東京 3069番)

普通廣告 一回一頁 40 圓 一回半頁 25 圓

指定廣告	裏表紙三面 及廣告初頁	一回一頁 60 圓
	裏表紙三面 色アート	一回一頁 150 圓 一回一頁 75 圓

○指定廣告は凡て一箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす

○會員自身の廣告に對しては總て上記料金の一割引とす

○同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分五分引、一箇年分一割引とす

○廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

## 會 告

萬國工業會議より下記會誌に登載方申越候間此段會告候也  
追て期日後と雖相當期間は受付申可由に有之候

記

昭和五年九月五日

萬國工業會議幹事

殿

拜啓 愈御清榮奉賀候陳者先般萬國工業會議論文集出版案内書送付申上置候處該論文集ノ特價豫約期間モ愈九月末日ヲ以テ満期ト可相成尙右論文集ハ經費ノ關係上初版限り絶版ト致ス豫定ニ有之ニ付今後ニ於テ再ヒ此貴重ナル文献ヲ得ルノ機會可無之存候就テハ右御諒承被下論文集又ハ御希望ノ分冊別紙注文票ニ御記入ノ上至急御申込ニ預リ度此段再應御案内申上候 敬 具

追テ各分冊ニ掲載スル論文ノ目次御入用ノ向ハ事務所ニ御一報被下候ハ、送呈可致候

## SPECIAL ORDER FORM FOR COMPLETE SET OF STANDARD EDITION

IMPORTANT NOTE: Only Orders received on or before September 30th, 1930, can be supplied at the Special Pre-Publication Price of  
¥ 200 (\$ 100 £ 20) Net Per Set.

# THE PROCEEDINGS OF THE WORLD ENGINEERING CONGRESS TOKYO 1929

Standard Edition (20 volumes)  
sold by set only

APPROXIMATELY 16,500 PAGES, CROWN QUARTO, BOUND IN FULL  
CLOTH, LETTERED IN GOLD

### PRICE PER SET OF TWENTY VOLUMES

Orders Placed Before Publication  
¥ 200 (\$ 100 £ 20)

Orders Placed After Publication  
¥ 250 (\$ 125 £ 25)

Please reserve and deliver on publication to address below, sets of the twenty Volumes of THE PROCEEDINGS OF THE WORLD ENGINEERING CONGRESS at the Special Pre-publication Price of ¥ 200 (\$ 100 £ 20) the set, instead of ¥ 250 (\$ 125 £ 25) for orders placed after publication, for which I enclose the sum of .....

Name .....  
(In Block Capital)

Name of Firm .....

Address .....

Export: Freight Extra

Domestic: Freight Free (Except Formosa, Korea and Saghalien)

## WORLD ENGINEERING CONGRESS

NIHON KOGYO CLUB BLDG., MARUNOUCHI, TOKYO, JAPAN.

## 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八番に拂込み用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

## 殘 部 内 譯

第五卷一號二號	壹圓
第六卷六號	壹圓
第七卷二號三號四號	五拾圓
第八卷一號	貳圓
第九卷一號二號三號五號六號	貳圓
第十卷二號三號四號五號六號	貳圓
第十一卷二號	貳圓
第十二卷二號三號五號六號	貳圓
第十三卷二號三號六號	貳圓
第十四卷一號二號三號四號五號六號	貳圓
第十五卷一號二號三號四號五號六號	壹圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	壹圓
第十六卷一號二號三號四號五號六號	壹圓
同 七號八號九號	壹圓
東京市内外交通に關する調査書	參圓
震害調査報告書(一、二、三)	拾八圓
土木工事寫真集	五拾圓

## 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なるときは會誌の配布を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

## 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相煩度

朝鮮満洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月至四月	自五月至八月	自九月至十二月
會 員	金拾八圓	金六圓	金六圓	金六圓
准 員	金拾貳圓	金四圓	金四圓	金四圓
學 生 員	金七圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

## 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成た

## 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年毎月十五日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべきに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月經過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配布不可能のことあるべきに付御留意相成たし